

# 伊方原発の再稼働を絶対に止めよう！ 残り1基！原発はなくせる みんなで行動しよう！

昨年の福島原発事故以来、多くの人々が原発反対の声をあげ、ついに稼働原発がなくなる事態を目前にしています。5月5日に北海道電力泊原発3号機が停止します。再稼働を阻止し続ければ、「原発ゼロ」にできるのです！「いますぐ脱原発はムリ」など、こんなウソはもう通用しません。

しかし野田政権と財界、「原子力村」の連中は福島事故は「収束した」と大うそを言い、デタラメな「ストレステスト」「新安全基準」で原発再稼働へのあがきを続けています。福島県内ではいまなお15万人を超える人たちが避難生活を強いられ、大半の地域が「放射線管理区域」以上の高線量被曝のもとにおかれている状況で、なにが「収束」でしょうか！しかも日本全体が壊滅寸前の福島原発事故の真相は何一つ明らかにされず、現在もいつ臨界爆発を起こしてもおかしくない状況で、大量の放射能を海と大気と土地にばらまき、事故の深刻さは日々いっそう深まる一方なのです。

私たちは、再稼働を阻止し原発をなくすためにさらなる行動を呼びかけます。

◇大飯・伊方原発の再稼働を止めるために行動を拡大しましょう。あれだけの事故を起こしても、原発を動かすこと、原発の輸出など、金儲けだけしか考えない「原子力村」！この連中にもっともっと私たちの怒りの声を！再稼働反対の署名運動、経済産業省前での座り込みハンストなどさまざまな行動と全国各地で連帯しましょう！

愛媛県内だけでなく西日本全域から伊方原発再稼働反対の声がどんどん上がっています。みんなで行動しよう！

## 「がれき広域処理」に反対します

「がれき広域処理」は被災地住民のためでなく、国と東電が責任をのがれ、原発を建設してきたゼネコンをさらに儲けさせ、再稼働に向けて放射能被曝を全国の住民にしかたないと「受忍」させるものです。

再稼働と原子力村の利権のための「がれき広域処理」には絶対反対です！

## 伊方3号機が再稼働の焦点に

「地元との関係が良好」（1月1日付日経新聞）といわれ、伊方原発は大飯原発以上に再稼働の焦点となっています。18日にも「伊方原発3号機のストレステスト妥当」について原子力安全保安院からの審査結果の説明が行われました。こういった段階を踏みながら再稼働を狙っています。

何よりも、中村県知事も「再稼働は国の判断」という立場で反対を表明せず、周辺自治体からも反対の声も上がっていない伊方原発3号機が大飯原発よりも先に再稼働する可能性が大きくなってきています。

もっともっと声をあげましょう。

原発の再稼働は「地上に置かれた原爆」の時限装置に再びスイッチを入れることです。原発や核を必要とし、だれかに犠牲を押しつけなければ成り立たないような社会は、もう終わりにしましょう。福島の人たちとともに、原発のない誰もが人間らしく生きることができる社会をみんなの力でつくっていきましょう！

**5・6伊方ー松山アクションにぜひ  
ご参加ください！**